兵庫ジャーナル記事

げた応援を呼びかけた。

このあと、化粧まわしが披露された。大関は「兵庫の誇りを胸に今日まで来た。県にちなんだまわしで嬉しい。3月の大阪場所では優勝したい」と感想と抱負を語った。

洋大同窓会が沖縄訪問―首里城復旧復興支援金を贈呈

海外研修での学びを生かした地域貢献活動に取り組む県青年洋上大学（洋大）同窓会の有志11人が2月21日から23日まで、兵庫と友愛県の沖縄県を訪問した。昨年10月に本殿等が焼失した首里城の復旧復興のため、会員らから寄せられた支援金を洋大沖縄地区会員に届け、兵庫と沖縄の絆を確認した。

21日は、兵庫・沖縄友愛運動のきっかけとなった故島田叡知事の顕彰碑を訪問し、友愛交流の歴史に思いを馳せた。

22日は、両県の会員約20人が参加し、親睦交流会を開催。國吉眞哲沖縄地区代表が「2年ぶりの再会。さらに、交流を深めよう」とあいさつ。次いで洋大同窓会の大家重明会長が「末永く、交流活動を続けたい」と呼びかけ乾杯。スライドショーにより、青年海外雄成塾など洋大事業の様子が紹介される中、賑やかに歓談した。

そして、大家会長から國吉沖縄地区代表に支援金が手渡され、沖縄地区会員からは「首里城は復旧復興のスタートを切った。火災に強い首里城にするため、大切な両県で温かく見守ってほしい」と感謝と決意の言葉があった。この後、琉球ランタンフェスティバルを見学し、楽しいひと時を過ごした。

23日は、首里城公園に

ひと百景

東西南北

琉球新報

ひやみかせ
首里城再建募金

洋上大学同窓会 支援金10万託す

兵庫から来県し寄付

【読谷】兵庫県青年洋上大学同窓会（大家重明会長＝前列右から3人目）は沖縄地区訪問で訪れた読谷村高志保の「むら咲むら」（國吉眞哲社長＝同4人目）で2月22日、首里城復旧復興支援寄付金贈呈式を開いた。

同会は沖縄戦当時に沖縄県知事を務めた島田叡さんの縁で始まった兵庫県と沖縄県の友愛交流が途絶えていたことから、4年前の沖縄訪問で復活させた。むら咲むらの國吉社長が沖縄地区代表となり、2月21日から3日間、訪問団11人が県内各地を訪れた。首里城の復旧復興に活用してほしいと兵庫県同窓会員から集めた支援金10万円を國吉社長へ託した。

大家会長は「2015年6月の島田知事顕彰碑式典から沖縄地区との交流活動が再開した。太く長く交流を続けたい」と述べ、國吉社長は「兵庫県の皆さまとは2年ぶりの交流である。さらに交流を深めよう」とあいさつした。また、沖縄地区同窓会設立に向けて、同窓生へ連絡を呼び掛けている。問い合わせは読谷ククルリゾート☎098（958）1111。

（喜納高宏通信員）

日米の子ら交流 カレー調理共に

うるま、石川青少年の家

【うるま】県ユネスコ協会はこのほど、2019年度「ユネスコ子どもの集い」をうるま市石川の石川青少年の家で開催した＝写真。

兵庫県青年洋上大学同窓会沖縄地区訪問して

2月21日～23日、兵庫県青年洋上大学同窓会有志11人が、2年ぶりに沖縄県を訪問し、沖縄地区会員と交流した。今回の目的は、昨年10月に本殿等が焼失した首里城の復旧復興のため、兵庫県の同窓会会員からの寄付金からなる支援金を同窓生の想いを直接届け、併せて沖縄地区会員との交流を深めることである。

1日目（21日）は、兵庫・沖縄友愛運動のきっかけとなった故島田知事の顕彰碑(2015年6月設置)がある奥武山公園を訪問した。この後、沖縄空手会館のイベントを見学し、国立劇場おきなわ嘉数芸術監督から組踊など沖縄伝統芸能の話やバックヤードの見学をした。読谷村に移動し、沖縄地区会員の手作り料理を交え、交流した。

2日目（22日）は、世界遺産座喜味城跡にあるユンタンザミュージアムの学芸員から読谷村の歴史、文化、芸術などの説明を受けた。オキハム読谷平和の森球場では、プロ野球中日２軍キャンプの様子を見学したのち、伝統工芸品読谷山花織工房、泡盛「残波」工場や残波岬を見学した。
夜は、むら咲むらで、兵庫県（11人）と沖縄地区会員（7人）との親睦交流会が開催された。國吉眞哲沖縄地区代表が、「兵庫県の皆様とは2年ぶりの交流である。さらに、交流を深めよう。」と挨拶した。洋上大学同窓会の大家重明会長が「2015年6月、故島田知事顕彰碑式典から沖縄地区との交流活動が始まった。太く長く、交流活動が続けたい」と乾杯の発声。この後、青年洋上大学海外養成塾などがスライドショーにより洋上大学事業の様子が紹介された。屋良さんの三線が演奏され、参加者でカチャーシューを踊り、参加者の絆が深まった。大家会長から國吉沖縄地区代表に同窓会員からの支援金が託された。最後に、沖縄地区会員から「首里城は復旧復興のスタートを切った。火災に強い首里城にするため、大切な両県で温かく見守ってほしい。」とのコメントがあった。懇親会終了後、琉球ランタンフェスティバルを見学し、沖縄地区会員が出品した「コーラルプリンセス号」や「神戸風見鶏の館」などランタンを見学し楽しいひと時を過ごした。

3日目（23日）は、今回の訪問の端緒となった首里城公園に立ち寄った。焼失現場は、立ち入禁止で城壁の周りなど一部の見学しかできなかったが、現場を見て文化遺産の大切さと首里城の復旧復興を願い、那覇空港に移動した。今回は2年ぶりの沖縄訪問であったが、沖縄県の友人と再会し、兵庫県と沖縄県の絆を再確認できた。